

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和5年度 第2回福津市ひとり暮らし高齢者等見守り協議会運営委員会
開催日時		令和5年12月19日（火） 15:40～16:10
開催場所		福津市中央公民館 研修室3
委員名		出席委員 青谷 勇 委員長、中島 浩 副委員長 松原 秀治 委員、石出 昌子 委員 金原 雅之 委員、藤野 大輔 委員 高杉 正 委員
所管課職員 職氏名		高齢者サービス課 桑野課長 高齢者福祉係 野中係長、重光 商工振興課 商工振興係 川端
会 議	議 題 (内容)	1. 見守り協議会の感想・反省点について 2. 次年度運営委員会に向けて
	公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	—
	傍聴者の数	0名
	資料の名称	・次第           ・資料2 ・資料1       ・資料3
会議録の作成方針		<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 記録内容の確認方法
その他の必要事項		

審議内容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

○協議の結論等

1. 見守り協議会の感想・反省点について  
研修内容については分かりやすく良かった。次回より見守り協議会としての特色をこれまで以上に見出した内容の研修を行いたい。
2. 次年度運営委員会に向けて  
各委員に対し、見守りに係る事例があった場合の提供依頼。  
まちづくり講座等で見守りキーホルダーの周知を継続。

○経過

1. 開会の言葉
2. 高齢者サービス課長あいさつ
3. 委員長あいさつ
4. 運営委員 辞令交付
5. 事務局の新任紹介
6. 配布資料について
7. 議題について
8. 次回、ひとり暮らし高齢者等見守り協議会運営委員会の開催について
9. 閉会の言葉

○議事の経過

1. 見守り協議会の感想・反省点について

中島委員 「研修内容はよく聞く内容であった。見守り協議会としての特色を出した研修を今後、実施していった方が良く考えます。」

松原委員 「とても分かりやすい内容でした。消費者トラブルはとて多いと聞いておりますので、シルバー連合でも講師を依頼して研修をお願いしていきたい。」

石出委員 「前年度は短い時間の中で成年後見制度と消費者問題についての講義で理解が難しいところはあったと思いますが、今年度は消費者被害に焦点を絞って研修をして頂いたことでとても分かりやすい内容になったと思います。ただこの内容が地域に広がらないとこの問題は中々解決しないと思いますので、この研修内容を地域にどう広めていくかが課題になってくると思います。」

高杉委員 「事例を用いた研修でわかりやすかったです。実際に患者様からも詐欺に関するご相談を受けることも多く。伝え方をどうしたらよいかと考えております。相談者の方の中には携帯電話等が高くなっていると相談を受けることもあります。契約書の所在もわからない状態であったり、マイページ等にもログインパスワード等わからず入れないという方も契約書を残しておくとかメモに残すとか大切かと思っております。今後は詐欺被害を未然に防ぐ取り組みをしていけたらと思っております。」

藤野委員 「福津市は高齢者の詐欺事案が多いと感じております。ニセ電話詐欺やリフォー

ム詐欺等の事案は実際にもかなり発生しています。これの対策についてどう浸させるかっていうことがやはり難しいところであると感じてます。被害に遭う方はどのような状態にある方が多いかと言いますと、一人で買い物に行けず閉じこもっている方であったり、お子さんが遠方にいる方、近所付き合いが無い方に多く見られています。こういった外部とのつながりが無い方へ情報を浸透させることが今後の課題だと感じております。」

金原委員 「昨年と比べたら、深堀した内容で理解がともしやすかったです。配食で高齢者の方に回っているのですけれども、業者の方と鉢合わせることはよくあります。その業者の方が悪徳かどうかは判断は難しいのですけれども、利用者の方に話しかけてみるとよく来てくれる方であったり、話をしてくれる方という認識で接している方が多く危機管理面では問題を感じるころではあります。」

青谷委員長 「本日の研修は消費者被害に内容を絞ったというところでとても良い内容になったと思います。私は民生委員としても活動しており、以前に民生委員の定例会にて、まもるくんという行方不明者の方が出た際に捜索をする方を募るとりくみがあったのですけれども、今後は見守りの活動も含めて、消費者被害の研修で学んだことを活かしていけたらと思っております。」

### 3. 次年度運営委員会に向けて

事務局 「まず令和5年度の活動をご報告いたします。まちづくり講座にて地域支え合い制度についての説明と見守りキーホルダーについての説明を実施しました。実施した結果、新規申請であったり、見守りキーホルダーの再発行等のご依頼を十数件受けました。それと本日の消費者被害の研修を実施しております。前年度は成年後見制度と消費者被害という内容で限りある研修時間では中々難しい内容になっていたかとは思いますが、今回の研修を受けて参加者がどう感じられたかはアンケートの内容を確認していきたいと思っております。次年度についてですが、今年度に引き続き地域支え合い制度と見守りキーホルダーの周知をまちづくり講座等を通して行っていきたいと考えております。また、各委員の方が日々活動をしていく中で見守りに係る事例等があり、それを提供していただければ、それを今後議題として取り上げて協議をしていけたらと考えております。」

中島委員 「議題の収集方法はどうかお考えですか。」

事務局 「各委員の方で議題に取り上げるに値する内容のことがありましたら、事務局の方にお電話にて連絡をさせて頂きたいと考えております。そこから事務局が内容を深堀して確認させていただくので、それを元に議題を作り、協議会にて協議を出来たらと考えております。」

青谷委員長 「他になければ、事務局の提案を採用して協議を終了します。」

終了